

食品ロス削減に関する取組の提案

獨協大学経済学部高安健一ゼミナール

Zero Food Waste チーム

1. 活動や資材作成の背景

私たち ZeroFoodWaste チームは、食の問題に興味を持った学生 4 人が集まり構成されています。3 年次の一年間で、食品ロスに関するイベントに参加し、また、著名人の方に協力していただきながら活動していました。「ZINE」という冊子形式の媒体に至ったのは、どうすれば若者が SDGs に関心を持ち、その行動が変化するのか、打開策を模索した結果です。ZINE には、2 つの特徴があります。1 つ目は、その由来がアメリカで 1930 年代に SF ファンが情報を交換し交流するために作った”fanzine”であることが示すように、特定の分野に特化した情報を、少ない部数で伝えるために発刊されることです。2 つ目は、自由な発想で自らのアイデアやアイデンティティを表現できることです。このような問題意識に基づき、私たちは 2018 年 11 月に『FOOD ISSUES: The Road to SDGs People』と題する ZINE を発行しました。

2. 取組概要

私たちの冊子作成の理由は 3 つあります。第 1 は、食品ロス削減に取り組んでいる省庁や企業が、若者を対象とする仕組みや媒体を持っていないことです。第 2 は、既存の食品ロス削減方法は、実行期をカバーするものにほぼ限定されていることから、行動変容ステージモデルを踏まえた削減方法を提示する必要があると考えたからです。「行動変容ステージモデル」とは、無関心期→関心期→準備期→実行期→維持期から成る 5 つのステップに沿った仕組みのことです。私たちは、食品ロスに対して無関心な大学生を「スパイスカレー」をキーとした ZINE によって、無関心期から関心期のルールに乗せることを狙いとしています。第 3 は、若者に継続的に食品ロス削減に取り組んでもらうためのインセンティブとして、「楽しさ」の要素を組み入れることです。私達の活動は、より多くの若者に「食品ロス」と「楽しさ」というキーワードを結びつけることが活動目標の一つです。

この目標の達成のために、12 月に東京ビックサイトで 3 日間開催されたエコプロ 2018 に出展しました。3 日間のイベントで約 650 名の方とディスカッションを通して私たちの取組内容の理解を深め、そのうち約 500 名の方に冊子を配布しました。今後は、私たちの活動をより多くの人に普及することを目的としています。

3. 提案内容

私たちは、大学生に食品ロス削減を切り口とし、SDGs に関心を持ち、行動変容を促

すため、FOOD ISSUES を作成いたしました。完成に当たって、私たちの FOOD ISSUES と、活動報告論文の紹介をお願いいたします。

4. 提案内容の想定される効果

多くの方に学生視点の食品ロス削減方法を知っていただける機会になります。今までターゲット層になかった若者層への啓発活動を少しでも補填することができるのではないかと考えます。社会に対して学生の一声が一人でも多くの方に変革のきっかけとなることになれば幸いです。